

H 教区新報 YOG

1996.11.107号

発行所
浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949代
(編集)教区基推委広報部



10月19日 午前の法要

本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター完成記念慶讃御修法要が、去る十月十八日から二十日までの三日間、即ちご門主をお迎えして神戸別院本堂に四座で

四十人の門信徒が参集して営まれた。各座とも法要開始三十分前に門信徒のつどいが開催され、真宗系歌斎唱のあと、門徒総代会、仏事連盟、仏

婦連盟、門推協、寺婦連盟より各一人、計十人が獻華。

献灯を行った。

続いて、法要テーマの説明を法要副委員長である山本宣昭師(淡路組萬行寺)

が門徒総代会代表多田実氏

(18日・19日午後)久堀弘

義師(神戸湊組行願寺)

(19日・20日前)からあ

り、門信徒代表の決意表明

とて開催され、決意表明

が門徒総代会代表多田実氏

日校・子ども会活動が困難な現状から「被災した子ども達に微笑みを!」をテーマに来る十二月二十六日(木)午前十時より午後三時までの予定で、神戸別院において「震災支援報恩講子どもの集い」を開催することになった。

内容はもちつき大会、おとき接待、報恩講おつとめ、アトラクション、ビンゴ大会と盛り沢山。参加費無料。お申込み、お問い合わせは教区少年連盟事務局(担当委員長)では、震災により、

近畿六教区で構成している近畿同朋運動推進協議会では、毎年同朋運動啓発のために、本願寺同朋センター(同和教育振興会)と共同で二種類の標語ボスターを作成、配布しております。

今年も標語を広く募集し

ますので、ふるってご応募ください。

<p

「ともに念佛の道を」

ご門主ご親教の全文

△日 ここはみなさまと
ご一緒に神戸別院・兵庫教
区教化センター完成記念慶

神・渾沌大震災といふ思ひがけない災害があり、特に心配いたしておりましたが、

この別院の沿革、また昭
急仮申させいたたぎまし
た。

す。それらが、十分に生かされ、兵庫教区一円の伝道・教化はいうまでもなく、地元神戸の文化へ、また国際文化交流へと貢献できることを期待いたします。

したいと願っています。それは当然のことですが、それだけでは、自分さえ良ければよいという方向へ流されれる恐れがあります。煩惱という文字からもわかりま

陀如来のさとりの世界です。ですから、お淨土からのはたらき、喚び声は南無阿弥陀仏として、今ここに届いています。南無阿弥陀仏とお念佛申して、阿弥陀如来



ご親教を述べられる即如ご門主

別院 結婚式ラッシュ

日誌

う人間関係」◆5日＝第一　法要法式部会を別院で◆少
土曜仏教講座を別院で。講　年連盟役員会を別院で。震

院で◆22日＝津村別院仏壇
より団体参拝◆23日＝芝哲
也さんと大海祐子さんの仏
前結婚式が別院で。芝さん
は姫路中組光徳寺衆徒◆大
阪教区島下組光徳寺若婦人
林寺衆徒◆30日＝震災支援・
別院落成記念「元気／ばば
たけ仮の子」の集いが別院
で。阪神間の十三園（慈愛
保育園・若葉保育園・梅の
花保育園・まこと幼稚園・



元気一杯ゲームに参加の園児たち

す
それと同時に一人ひとりの人生は、一回限りの限られた時と所で過ぎていきますから、抽象的な理論ではなく我が身のできごとに即して仏法を聴聞いたしましょう。

慈悲の活動の世界です。
最近テレビなどの影響か、
子供たちが天国という言葉
をよく用いるように感じら
れます。はなはだ心配をし
ているところであります、
お淨土とは祖先が先立つて
いかれた世界であり、わた
しのいのちが還っていくと
ころであるとともに、阿弥

のたひこの法要が大震災に遇われた方々に少しでも励ましとなりますことを願い、ともにご本願念佛の道を歩ませていただきここを新たにいたしまして、私の話を終わらせていただきます。

さて、お釈迦さまがこの世にお出ましになつて二千数百年、宗祖親鸞聖人が淨土真宗をお開きくださつてから七百数十年が経ちました。世の中はかわりました。この別院の建物や便利な機能を、昔の人々は想像もし難かったであります。しかし、かわらないことがいくつもあります。諸行無常、つくられたものは移りかわっていくということ、人のいのちには限りがあること、人類社会には争いが絶えないこと等々。その根本には煩惱、人間の自己中心的な欲望があります。仏法はその解決をめざしていますから、時代や社会を超えて死んだ後の世界だけを心配していらっしゃったのであります。お淨土とは

が喚んでいてくださることを常に思い起こしますよう。人間の欲望が渦巻くこの世界、戦争や環境汚染の続く地球、その一員である私はさとりの世界から喚びかけていてくださるのです。悪いことをしても救われるという甘えた考えではなくて、縁に会えばどんな恐ろしいことをもする私を心配してくださつていると受け取らせていただきましよう。

◆4日㈯大阪市内四組（大門徒総代会但馬ブロッック研修会を豊岡教堂で。講師は前日に引き続き井上朋義師
組・臨港組）より団体参拝
◆ビハーラ兵庫・贊助会員研修会を別院で。講師は西光義敏師（真宗カウンセリング代表）講題は「育ち合

記念法要広報部会・財務部
会を別院で◆回答書テキス
ト作成委員会を別院で◆9
日＝近畿ブロック寺婦研修
会が奈良文化会館で◆災害
対策常任委員会を別院で◆
10日＝林泰之さんと柴田千
明さんの仏前結婚式が別院
で。柴田さんが朝来組唯念
寺の寺族◆11日＝完成記念

別院・兵庫教区教化センター
完成記念慶讃御親修法要
(一面から四面に記載) ◆
19日||完成記念祝賀会をボーポー
トピアホテルで。約三百人
が出席。アトラクションで
はるんびに太鼓が力強く響
きわたった◆第三連区門推
研修協議会準備会が本山で

仏の子ら600人が集う



献華・献灯に整列して待つ各団体の方々



19日午後 決意表明の木村久子さん



法要の意義とテーマ説明の久堀弘義師



ご門主ご親修で正信念仏偈をおつとめ

完成の慶び讃えて



十一句念佛で座前立列の結衆



出勤前の法中のみなさん



講師の中西智海師



あいさつの土基輪番



随行長 松村総長のあいさつ



前庭で組名のプラカードをあけて誘導



ポートピアホテルで祝賀会 約300人が出席
貝原俊民兵庫県知事も出席して祝辞

椅子を取り除き、畳を敷きつめ満堂となった本堂
最前列は住職席、その後ろから内信徒、会議室・総会所にも参詣者で一杯

◆「ご門主さまとお会いでき
心、ひきしまる思いでござ
います。このご縁をいただき、
幸せ一杯です。辰巳福
子さん（阪神東組覚円寺）

◆皆様に親しまれたモダン
寺には、以前参詣させてい
ただき、また今回落慶法要
にご縁をいただき大変有り
難く思いました。モダン寺
の立派さに胸が熱くなり、
門徒のひとりとして、念佛
生活にいそしみたいと思いま
す。建設にあたった関係
者の皆様のご苦労に感謝申
し上げます。松井寿栄子さ
ん（阪神南組西要寺）

◆建設計画にあたり、私も
委員の一人として選ばれ、
当時耳に入ることは「どこ
から二十数億のお金が集ま
るのか」とよく聞きました。
しかし、宗門の各人が一丸
となつてよく頑張つたなあ
と喜ばせていただき感無量
の一言に尽きます。大石昭
則さん（神戸中組常念寺）

◆いろいろなご縁に会いな
がら生きていますが本日
法要もすばらしいご縁でござ
いました。自分を探しな
がら生きることも死ぬこと

も逃げないで、素直に受け
とめていこうと思っていま
す。本日はありがとうございました。
地震も貴重なご縁でした。砂川純子さん
(神戸東組源光寺)

◆新築なった神戸別院に一
杯の参詣者。記念すべきこ
の慶讃法要にお参りさせて
頂いたことを幸せに思いま
す。立派な法要でした。藤
森康子さん（神戸東組圓光
寺）

◆完成記念慶讃法要にお参りさせていただき有
り難く思います。生きてい
る感謝、今さらながら思う
次第です。また是非お参り
させていただきたいと思い
ます。川名政子さん（神戸
中組專称寺）

◆ご門主さまをお迎え申し
上げての慶讃法要にお参りさせていただき、誠
に人と生まれたよろこびを感じます。上荷幸子さん
(神戸西組法泉寺)

◆兵庫教区教化センターと
して私たち門信徒の集いの
場を再興いただき、今日の
完成記念慶讃法要にご縁を
頂けたことを一時の喜びと

せず、この心を子に孫にも
伝え、お念佛の日々を送ら
せて頂きます。坪田努さん
(神姫組專光寺)

◆別院・教務所が以前より
も立派になつたことを喜ん
でおります。ご門主さまと
ともに正信念仏偈をあげ
られたことも喜びです。法要
のご縁よかったです。あり
がとうございました。石堂
一郎さん（揖斐西組超念寺）

◆待ちに待つた法事が厳修
できましたこと、心から感
謝申し上げます。今後は別
院が心の拠り所となればと
思います。「変革と前進へ
の誓い」を心におさめ、私
の家庭、私の寺院に伝道で
きるよう心新たにがんばろ
うと思います。中尾勝さん
(氷上西組照徳寺)

◆立派なご本堂にお参りさ
せていただき感激していま
す。本当にうれしくうれし
くお参りさせていただきま
した。さぞこれだけの建築
大変だったと思ひます。佐
藤寿子さん（岡山南組源照
寺）

「立派さに胸が熱く・・・」 参拝門信徒喜びの声